

# ぴっぷ議会だより



## 8月24日 いちご苗定植体験

おいしいいちごが実りますように…。ぴっぷいちご誕生100周年を記念し、小学1・2年生と中学3年生約70人がいちご苗の定植を体験。いちご農家の皆さんに教わりながら、丁寧に植えました。

- 2 審議結果「第3回定例会」
- 4 一般質問
  - 植西 浩一 議員 ぴぴたくの運用について / 介護事業所の負担軽減について
  - 遠藤ハル子議員 新型コロナウイルス・デルタ株のまん延の中で日常をどう取り戻すのか
  - 谷口 雅浩 議員 次期、町長選挙に向けて
- 7 令和2年度各会計決算審議
- 10 委員会の活動

# 9月6日～8日 第3回定例会



9月6日～8日に開かれた令和3年第3回定例会では町の課題等に対し、3議員が一般質問をしました。また、令和2年度比布町歳入歳出決算認定をはじめ、議案16件は審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。なお、一般質問は4～6ページに掲載しています。

## 報告

### ◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告

令和2年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率を議会に報告し、財政の健全性を示すものです。

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標がありますが、本町の財政はいずれも基準値内で「健全である」との報告がありました。

## 認定

### ◆令和2年度比布町歳入歳出決算認定

佐藤康則委員長ほか6人で構成する決算特別委員会に付託され、審議の結果、認定されました。（決算特別委員会での質疑等は、7～9ページに掲載しています。）

## 人事

### ◆教育長の任命

任期満了に伴い、北川範之氏（再任）の任命に同意しました。

### ◆教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、古川亜紀子氏（新任）の任命に同意しました。

### ◆監査委員の選任

任期満了に伴い、笈川弘司氏（再任）の選任に同意しました。

### ◆固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴い、山崎誠一氏（再任）の選任に同意しました。

## 一部事務組合

### ◆上川中部福祉事務組合の設立

令和4年4月1日より当麻町、愛別町、上川町と本町の4町が共同で、児童の発達支援、障がい者

の相談支援及び自立生活支援等に関する事務を行う「上川中部福祉事務組合」を設立するものです。【原案可決】

◆上川中部基幹相談支援センターの共同設置の廃止

◆上川中部こども通園センターの共同設置の廃止

上川中部福祉事務組合の設立に伴い、両センターを令和4年3月31日をもって廃止するものです。【原案可決】

## 財産の取得

### ◆財産の取得

災害時応急復旧資機材運搬車両（クレーン付トラック）を1台購入するものです。【原案可決】

## 条例

◆過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税の特例に関する条例の制定

新たに制定された「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき、地方税の課税免除に伴う財政補てん措置の拡充及

び延長を目的に本条例を制定する  
ものです。  
【原案可決】

◆比布町道路占用料徴収条例の一  
部を改正する条例  
道路法等の改正に伴う条例改正  
です。  
【原案可決】

◆比布町道路の構造の技術的基準  
等を定める条例の一部を改正す  
る条例  
道路構造令の改正に伴う条例改  
正です。  
【原案可決】

◆比布町立学校設置条例の一部を  
改正する条例  
令和4年4月1日から完全な小

中一貫教育を実施する義務教育学  
校への移行にあたり、学校の名称  
を「比布町立比布中央学校」に改  
めるものなどです。  
(賛成7 反対1) 【原案可決】

## 計画策定

◆比布町過疎地域持続的発展市町  
村計画の策定  
過疎地域の持続的発展の支援に  
関する特別措置法に基づき、「比布  
町過疎地域持続的発展市町村計画」  
を策定するものです。  
【原案可決】

## 補正予算

◆一般会計(第4号)

◆介護保険特別会計(第2号)

◆簡易水道事業特別会計(第1号)

補正額と総額、主な内容は上の  
表のとおりです。  
【原案可決】

### 意見書を提出

第3回定例会において、次のと  
おり意見書を採択し、それぞれ関  
係機関に提出しました。

◆コロナ禍による厳しい財政状況  
に対処し地方税財源の充実を求  
める意見書  
【提出先】衆参両院議長、内閣総理  
大臣、財務大臣、総務大臣、経済  
産業大臣、内閣官房長官、経済再  
生担当大臣

◆国土強靱化に資する社会資本整  
備等に関する意見書  
【提出先】衆参両院議長、内閣総理  
大臣、財務大臣、総務大臣、国土  
交通大臣、国土強靱化担当大臣

◆林業・木材産業の成長産業化に  
向けた施策の充実・強化を求め  
る意見書

【提出先】衆参両院議長、内閣総理  
大臣、財務大臣、総務大臣、文部  
科学大臣、農林水産大臣、経済産  
業大臣、国土交通大臣、環境大臣、  
復興大臣

## 第4回臨時会

9月17日

◆上川中部福祉事務組合規約の変  
更  
同組合規約の一部を変更するも  
のです。  
【原案可決】

## 第5回臨時会

10月4日

◆損害賠償額の決定  
作業中の事故による損害賠償額  
が決定されました。  
【原案可決】  
◆一般会計補正予算(第5号)  
補正額と総額、主な内容は上の  
表のとおりです。  
【原案可決】

令和3年度各会計補正予算(第3回定例会)
一般会計(第4号) 2,236万5千円の増 (総額39億6,885万4千円) ■ふるさと応援寄附金事業、新町団地解体工事、 学校・運動公園修繕料の増ほか
介護保険特別会計(第2号) 2,578万7千円の増(総額6億26万6千円) ■令和2年度決算確定に伴う繰越金の増ほか
簡易水道事業特別会計(第1号) 330万円の増(総額2億4,764万9千円) ■簡易水道施設修繕料の増
令和3年度各会計補正予算(第5回臨時会)
一般会計(第5号) 1,000万円の増 (総額39億7,885万4千円) ■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時 交付金の増ほか



# ぴぴたくで必要な町外施設への送迎はできないか

村中町長

## 町外への送迎は可能だが町内の経済が失われる懸念がある



植西 浩一 議員

### ① ぴぴたくの運用について

□ 質問・植西議員

町内にない施設で、なおかつ、それが生活に必要な場合に限って町外施設への運送をすることは可能ですか。

■ 答弁・村中町長

町民の皆様が本町に安心して住み続けていただくためには、地域交通の確保が重要な課題だと考えます。これまで町内公共交通に關して政策研究連携会議を複数回開催し、町内無料送迎バスや、ぴぴたくのほか、JRや道北バスなど、民間公共交通機関も含めた総合的な地域交通のあり方について継続して協議・検討をしています。

「ぴぴたく事業」についても、現在の利用状況等を踏まえ、対象者区分や利用基準等の協議を行っているところです。

ご提案の内容は十分検討の余地はあるものと考えています。なお、無償で行う「ぴぴたく事業」として、町外まで送迎を行うこと自体は道路運送法上、特段問題はなく、手続きも不要であると認識しています。

□ 質問・植西議員

地域の振興も考えて「ぴぴたく」を運用しているとのことですが、

地域振興をしていく何か具体策があればお聞かせください。

■ 答弁・村中町長

無料で町外に行くことは、全く手続き等もいらず問題はありませんが、町外へ経済が流れてしまうことに對して町がお金を出しているのかというところのジレンマに悩むところです。そのバランスが必要かと思っています。

### ② 介護事業の負担軽減について

□ 質問・植西議員

夜間帯など人員が少ない時間帯の精神的あるいは身体的負担が大きいことが見えてきました。

業務の一部を機械化することで精神的・身体的負担を軽減し、介護事業所の従事者増員や勤続へとつなげられるように思います。

現在、導入されている介護用ロボット<sup>※</sup>の現状をどのように進めるべきか、また活用について現状をどのように捉えているのか考えを伺います。

■ 答弁・村中町長

介護ロボット導入は、介護職員の負担軽減に大いに役立つものと言えますが、介護職の離職を抑制し、安心して働ける職場環境の整備を行うためには、人材の確保

も重要課題であり、そのためには町内外を問わず、次世代の担い手である中高生や働き手世代に對して「介護職の魅力」を発信していくことが大切なことと考えます。魅力ある職場づくりに向け、事業者とも連携を図りながら、介護体験教室を開催するなど、将来的に介護事業所の負担軽減となるよう協力していきます。

□ 質問・植西議員

公的な職業ですので、その従事者を自治体が育てていくということとは、決して不思議なことではないと考えます。保健福祉課などが主導し、地域の中で従事者を育てていくということを進めてほしいと思います。

また、介護ロボット購入に対する補助の考えはありますか。

■ 答弁・村中町長

介護の現場を担っている方の負担軽減になるよう現場の方々の意見を大切にしながら、町としても協力はしていきたいと思えます。

※介護用ロボット：移動支援や見守り型の夜間体調管理用のセンサー付マットなど、利用者の自立支援や介護者の負担軽減を目的とし、利用推進が図られています。



一般質問 ズバリ！ ここが聞きたい

# 新型コロナウイルス 日常を取り戻すための対策は

村中町長

## ワクチン接種や予防対策の徹底 今できることに全力で取り組みたい



遠藤 ハル子 議員

□質問・遠藤議員

第5波では病床不足となり、自宅療養者は拡大を続けています。ワクチン接種が進んでも感染連鎖を食い止める「集団免疫」の達成は難しいとされ、従来株なら6〜7割の接種率で達成されるとみられていましたが、感染力が強いデルタ株では8〜9割の接種率が必要との見方もあります。

ワクチン接種やPCR検査、現状の予防対策だけでは猛威を抑えきれないとみられ、流行収束の見通しは立っておらず、日常が取り戻せるとの希望が持てなくなっています。これからのコロナ対策と日常を取り戻す対策について町長の考えを伺います。

■答弁・村中町長

現在全国的に急拡大している大きな要因の一つとして、感染力が非常に強い変異株「デルタ株」の拡大があると言われています。

各国の感染症学会などでは、「デルタ株の流行で集団免疫の目安は人口の90%に近い水準に上昇した」、国の新型コロナウイルス感染症対策分科会においても、「ワクチンは非常に強い対策の柱だが、それだけでは現状は乗り越えられない」との指摘もあります。まずはワクチン接種を希望する

全町民の皆様に対し迅速かつ安全に行い、マスクの着用や手指消毒など、これまで実施している感染予防対策を粘り強く続けることが、以前のような日常生活を取り戻すために大切なことだと考えます。

そのためには、町民一人ひとりが、高い意識と強い危機感を持ちながら、日々「うつらない、うつさない」ための行動をとることが肝要であると考えますので、防災行政無線やあらゆる場面において周知に努めます。町民皆様の命と健康を守ることを第一として、今できることに全力で取り組みます。

□質問・遠藤議員

今までの検査抑制論ではない、濃厚接触者だけでなく無症状者にも検査ができる「いつでも・誰でも・何度でも」を行うような政策が必要ではないかと考えます。

■答弁・村中町長

一定程度広まっていますので不安な方は検査を受け、受けられた方も十分注意をして行動していただきたいと思えます。

□質問・遠藤議員

町長自ら緊急性・緊迫性を防災行政無線で「ここに電話してください」、「消防はいつでも対応して

ます」など、生の声で頻繁に放送してほしいと思えます。

■答弁・村中町長

機会がありましたら、直接呼びかけたいと思えます。

□質問・遠藤議員

町立びっぶクリニックの指定管理者・友崇会とコロナ禍での話し合いはどうだったのでしょうか。

■答弁・村中町長

ワクチン接種については本当に難しい協議もありましたが、担当者と事務局で話し合い、小児科担当である12歳からの接種もできることになり、対象となる全町民の方を受け入れる体制も整いました。

□質問・遠藤議員

行政検査への考えはありますか。また、事業所、学校、保育園、児童クラブなどの接種はどこまで行っていますか。

■答弁・村中町長

接種は優先的に進めています。行政検査については今後、国会で教育現場などでの実施の話もあるようです。今のところ町単独で行政検査を行うことは考えていませんので、ご理解をお願いします。



## 次期町長選挙に向けて 立候補の考えは

村中町長

### 住んで良かったと思えるまちを目指し 決意を新たに再度立候補したい



谷口 雅浩 議員

□質問・谷口議員

村中町長におかれましては、平成30年1月の町長就任以来、4年間の任期をこの冬に終えられます。

この間、「住んで良かったと思えるまちづくり」を掲げ、限られた財源と職員体制で、人口減少対策として移住定住促進対策を進めるとともに、胆振東部地震時における停電対応、応援大使制度など情報発信の強化により交流人口の活性化につながったものと思います。

また、将来を担う子どもたちの健やかな成長のため、運動と食による脳の活性化事業や小規模保育所の誘致を行い、老朽化した火葬場については、町民の最後をねぎらうにふさわしい建物となったところ です。

特に、災害とも言われる昨年から  
の新型コロナウイルス感染症対



策においては、町民の安全な生活を確保しながら、町内経済を守ることに尽くされてきました。

しかし、コロナ禍に加え少子高齢化や公共交通、役場庁舎の改築など多くの課題が残っています。

これまでの政策を踏まえ、町長の目指す「住んで良かったと思えるまちづくり」の総括と山積する課題を解決するため、比布町の新たな4年間のかじ取りを行う次期町長選挙に立候補する考えがあるか伺います。

■答弁・村中町長

多くの町民の皆様より温かいご支援を賜り、平成30年1月から町長として仕事をさせていただきました。1期4年の最終年を迎えています。

これまで、首長としての力不足を感じながらも、町民の皆様や議員の皆様、そして職員にも支えられ、首長としての任務を果たすことができたものと思っております。

谷口議員からは、これまでの事業を取り上げていただきましたが、前半の2年間は、全速力でマラソンを走るように取り組んできましたが、その後は新型コロナウイルスの影響により思うような活動ができず、現在は感染拡大防止やワクチン接種などに力を注いでいるところです。

まだまだ勉強不足であり、反省しなければならぬこともあることは私自身も承知しており、皆様にとりましてはご不満な点もあるかと思いますが、ご質問のとおりに、解決しなければならぬ課題は山積しています。

少子高齢社会を迎える中、子育て支援や交通対策など、安心して暮らし続けられるための対策や公共施設の老朽化対策など、特に、役場庁舎については建築から62年が経過しており、耐震強度も不足していることから、防災拠点施設としても改築が必要だと考えています。

将来の予測が難しい時代ではありますが「第12次比布町まちづくり計画」に基づき、住んで良かったと思えるまちを目指して、まちづくりの歩みを止めることなく、未来の子どもたちにも、この素晴らしい比布町をしっかり引き継いでいかなければならないと思っています。

これまでを振り返り、これからを想像しますと、その職務の重大さ、責任の重さを改めて強く感じますが、多くの皆様からの温かいご支援をいただきながら、決意を新たにし、来る町長選挙において、再度立候補したいと思っております。



# 令和2年度各会計決算を認定

令和2年度各会計決算は、議長及び議選監査・澁谷興二議員を除く議員7人で構成する決算特別委員会（委員長佐藤康則・副議長）を設置し、9月6日と7日の2日間にわたり、審議を行いました。

定例会最終日の9月8日に、佐藤委員長から「委員会として令和2年度会計決算を認定すべきもの」との審査結果報告がありました。

区分	歳入合計	歳出合計	差引
一般会計	4,441,765,405 円	4,140,055,939 円 翌年度繰越額 80,614,000 円	221,095,466 円
国民健康保険特別会計	479,229,464 円	460,852,130 円	18,377,334 円
後期高齢者医療特別会計	69,245,163 円	69,239,073 円	6,090 円
介護保険特別会計	605,111,821 円	581,730,425 円	23,381,396 円
観光事業特別会計	166,897,403 円	156,067,042 円	10,830,361 円
簡易水道事業特別会計	237,262,504 円	235,169,932 円	2,092,572 円
公共下水道事業特別会計	67,320,211 円	65,885,722 円 翌年度繰越額 91,000 円	1,343,489 円
合計	6,066,831,971 円	5,709,000,263 円 翌年度繰越額 80,705,000 円	277,126,708 円

## ▼一般会計【歳入】

【植西委員】地方消費税交付金について、前年度と比較し増額となったが要因は。また、町内の消費が影響すると思うが、税収を上げるためにもお店を増やすなど商業振興についての考えは。

【総務企画課長】消費税率の改正に加え、2年度は消費税の納付期日の関係で1か月分が元年度から繰り越されたためです。なお、町内の消費もありますが、国全体の消費税が配分されることから、企業や従業員を増やすことにより増額へとつながります。

【産業振興課長】町内には大型店舗はありませんが、新しい事業所も増えてきていますので、商工業振興補助金なども活用いただきながら引き続き支援を続けていきます。

【谷口委員】グリーンパークのキャンプ場使用料について、アウトドアブームにより多くの利用者があることから、アクティビティの活用とともに今後を見越して拡大する考えはあるのか。

【産業振興課長】具体的な計画はありませんが、ご意見もいただいていますので検討したいと考えます。

【今井委員】まちづくり応援寄附金

について、返礼品のお米を町や農協が集約することで、ゆめびりか発祥の地としてのブランドを生かした選択肢とすることはできないか。

【総務企画課長】現在、返礼品としてお米を出している方や農協とも協議します。また、リピーターとしても買ってもらうように比布産米などの形での販売も検討します。

【大熊委員】ふるさと納税のサイトについては専門的に改修が必要ではないか。

【総務企画課長】費用対効果を考えると厳しい面もあり、引き続き職員で工夫をしながら検討していきます。

【遠藤委員】寄付金を基金に積み増しするのではなく、まずは早期に活用するべきではないか。また、寄付をされた方に使途について手紙などで速やかにお知らせすることでリピーターにつながるのではないか。

【総務企画課長】活用目的を設けていることから、その内容に応じた事業に充てています。詳細をお知らせすることは難しい場合もありますが、明確な事業については広報も含め検討していきます。

【谷口委員】ヒルクライムレース大会参加料について、2年度は多くの参加があったが、今年度はコー

入を含めどのような状況での開催を考えているのか。

【生涯学習課長】コースについては参加者や観客から見えやすいように設定しましたが、コロナ禍の影響もあり、申込者数は昨年比で減少しています。

※3年度の大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

【植西委員】実質公債費比率について、今後起債の返済により若干悪化することだが、庁舎の建替えに向けては改善をするのか。また、比率が上がったとしても投資したものはできる限り効率的に使うことが必要ではないかと思うが考えは。

【総務企画課長】比率は一時期に比較すると低くはなつてきていますが、庁舎建設となれば上がりまうので、借入金の返済を平準化するなど大きな負担にならないよう予算組みを行います。また、借入をした施設などについては、町民に対してしっかりと説明できるように活用していきたいと考えます。

## ▼一般会計【歳出】

### 総務費

【大熊委員】バス路線の維持に対す

る支援金1,400万円について、公共交通として今後どの程度の額まで支援を考えているのか。

【総務企画課長】今年度も支援の要請があり、地域公共交通である民間バスを存続するためにも、形が変わっても一定程度の支援は必要と考えています。

【遠藤委員】地域おこし協力隊は、どのような考えで採用しているのか。過疎化で人材が不足する地域で求められるような方も募集・採用する必要があるのではないか。

【総務企画課長】現在は町で進めている「運動と食による脳の活性化事業」の運営を目的に採用しています。協力隊員には本町に根差す中で、できれば起業し、定住につながるよう考えており、地域が必要と考える活動を伺う中で町としても必要となれば採用もできると考えます。

### 民生費

【今井委員】びびたこの利用状況や傾向、予約をして乗車できなかった方はいたのか。また、地域の交通としてつなげていく考えはあるか。

【保健福祉課長】登録者は195名で市街の方が多く、延べ1,781回、1日平均5,6回の利用で、多

くは食料品の買い物での利用となっており、車両が1台のため希望が重なった時には同乗、または日程を変更していただいています。車両台数や経路などについては町内の交通体系を含め協議を進めています。

【総務企画課長】現在の議論の中では車両数や車両サイズの変更などがあり、引き続き検討を進めていきます。

【植西委員】社会福祉協議会の補助事業において高齢者事業団に委託している除雪サービスで、体力的にも人力では難しい場合もあることから、負担軽減のために除雪機など機械の購入や補助をすることはできないか。また、事業団の他の作業においても個人で機械を購入する方もいるようなので現状を把握し対応すべきではないか。

【保健福祉課長】高齢者事業団には除雪機1台を貸与しており、理事会でも人力で難しい場合の対策は協議、対応されています。また、事業団から要望があれば、対応できる部分は可能かと思えます。

【安藤委員】中央ふれあい広場の遊具について破損して利用できない物や劣化が進んでいる物もあり、危険だと思うが撤去や整備を行わ

ないのか。

【保健福祉課長】保育園新園舎の計画と併せて整備する考えでしたが、他にも指摘があり、安全性も考慮しながら撤去、補修を行います。

### 衛生費

【安藤委員】不妊治療費助成について、現状高額な負担となっており助成額を増やす考えは。

【保健福祉課長】2年度は2件の助成となっており、今のところ増額の予定はありませんが、来年度の方角性について協議をします。

### 商工費

【大熊委員】グリーンパークの冬期間の利活用について考えは。

【産業振興課長】昨年よりバナナポートのコースとして一部利用しており、民間との連携の可能性はありますが、直営での考えは現在ありません。

### 土木費

【大熊委員】町道の除雪について、大雪の際における優先順位を定める必要性はないか。

【建設課長】幹線道路から優先して行い、その他の道路は1車線分を



開けた後に幅を広げるよう進めています。

## 消防費

【谷口委員】消防車両はマニュアル車が多く、新しい団員が運転できるように運転資格取得の助成もしているが、オートマチック車を導入することで団員の確保もしやすくなるのではないか。

【消防署長】消防団車両3台がマニュアル車となつていますが、更新時には順次オートマチック車での購入を考えます。

## 教育費

【安藤委員】ブックスタート事業は生後7か月の乳児健診時に実施しているが、3か月ごろでも十分効果があると思うので、早める考えはあるか。

【生涯学習課長】現在、ブックスタート事業として絵本2冊とエリプスセンスボールを渡していますが、説明時間の確保も含めて保健係とも協議して検討します。

【遠藤委員】白寿大学について、生涯学習の意欲や向上心を保証するためにも、集合学習やクラブ活動等への予算を増やすことによつて

学生を増やせるのではないか。

【生涯学習課長】白寿大学の学生については減少しており、クラブ活動が主なものとなっております。自主運営をお願いしますが、継続して活動をする上で必要なものであれば、話を伺い検討します。

## ▼観光事業特別会計

【今井委員】リフト使用料収入が8千万円台となったが3月に減額補正をしており、最後に何かできないものかと希望する。リフトや圧雪車などの維持更新費用について、近隣のスキー場と連携して縮減することはできないか。

【産業振興課長】スキー場の機械類は高額なものが多く、直営で整備することで経費を抑えている面もあります。機械の更新時期は異なる面もあることから他との連携は難しいですが、経費の縮減は重要であり、ナイター営業について需要と経費のバランスを検証する考えです。

## ▼総括質疑

【遠藤委員】クラウドファンディングのように、例えば認定こども園など特定の項目についてふるさと納税を募る考えは。また、企業版ふる

さと納税を積極的に進めてみては。

【町長】ふるさと納税は大事な自主財源となつてきています。本年度はJRの駅を維持するための取り組みも進めており、企業版も含めて共感を得るためのPRも行いながら進めたいと思つています。

【植西委員】比布町に足りないものを創り出す財源としてふるさと納税を活用することで移住につなげ、それにより歳入の改善も期待されるが、歳入全体についてどのような考えを持っているのか。

【町長】ふるさと納税を通じて新たな産業や雇用、人口増は望ましいことでもあり、検討や支援も行つていきたいと思ひます。特に町では国のように赤字国債を発行できませんので、自主財源を増やすことは重要であり、個人、法人のふるさと納税なども活用しながら町民の生活向上に努めていきます。

【今井委員】様々なコロナ対策が行われたが、これまでの見解や考え、今後の対応は。また、近隣町との調和のとれた経済対策も必要であり、例えば上川スタイルとして宣言することで新たに経済や観光産業につなぐようなことはできないか。

【町長】コロナ対策については、町民の命も事業所の明かりも両方消

さないという強い思いで望んできました。商品券の配布や事業者への支援、感染症対策などを行い、幸いにして町民の皆様の協力により大きな混乱もないところですが、市町村の枠を超えた経済対策は難しい面もありますが、パークゴルフやポケふた等のつながりを活用することも検討できるのではと考えます。今後、いつまでコロナの影響が続くかわからない状況ですが、できる限りプラス思考でつながりを大切にしながら続けていきます。

【今井委員】来年度より義務教育学校が始まるが、現状、ほとんどの生徒が高等学校に進学する中で「数字I」が大切になる。その基礎となる学力をこの義務教育学校でしっかりと身につくよう取り組んでほしいと思うが考えは。

【教育長】義務教育学校となつても今まで同様「誰一人見落とすことがない」という姿勢で、一人ひとりの基礎学力を身につけることを大切にすることにより高校教育につなげ、さらに高校生になつてからのつながりの機会も検討します。比布町の子どもたちの教育を町民の皆様と総がかりで取り組みたいと考えています。



Q…委員からの質疑  
A…担当からの回答

## 総務常任委員会 8月25日開催

### 【税務住民課】

#### 《報告事項》

- ◆令和3年度町税等の課税状況(当初)・7月末の収納状況
- ◆上川広域滞納整理機構の収納状況  
引継件数10件のうち3件完納
- ◆戸籍及び住民登録人口等の推移
- ◆所管施設の利用状況等
- ◆令和2年度公衆浴場利用者数3,574人

#### 《協議事項》

#### ■第3回議会定例会提出議案

- ◇過疎地域の持続的発展の支援に  
関する特別措置法の適用に伴う固  
定資産税の課税の特例に関する条  
例の制定

新たに課することになった年度  
から3か年度分限り課税を免除

する。令和3年4月1日から適用。

### 【保健福祉課】

#### 《協議事項》

#### ■第3回議会定例会提出議案

- ◇一部事務組合の設立・共同設置  
の廃止

上川中部基幹相談支援センター・  
こども通園センター職員の処遇改  
善と福祉サービスの向上を図るた  
め、両センターを統合し、上川中  
部福祉事務組合を4町(比布・当  
麻・愛別・上川)で設立を目指す。  
◇令和3年度一般会計・介護保険  
特別会計補正予算案

#### 《その他》

- ◆新型コロナウイルスワクチンの接  
種状況
- ◆妊婦や乳幼児をもつ母親にワク  
チンの優先接種を考えているのか。
- ◆A20代・30代に案内をするとこ  
ろです。希望される方への接種  
は可能です。
- ◆認定こども園の経過報告
- ◆介護保険サービス利用における  
自己負担限度額の変更(8月から)

### 【生涯学習課】

#### 《協議事項》

#### ■第3回議会定例会提出議案

- ◇比布町立学校設置条例の一部改  
正案

◇令和3年度一般会計補正予算案

#### 《報告事項》

- ◆令和2年度比布町教育委員会の  
権限に属する事務の管理及び執行  
状況の点検・評価
- ◆義務教育学校移行における進捗  
状況
- ◆学校運営協議会
- ◆君の夢プロジェクト「心に響く  
道徳講話 E X I T」
- ◆学力向上対策事業「チャレンジ  
ゼミ」
- ◆社会教育事業
- ◆小学生学習支援事業「ぶつくん  
寺子屋」
- ◆子ども体験教室「夏の自由研究」
- ◆公民館事業「夏の旭岳ツアー」
- ◆郷土資料館開放デー
- ◆図書館蔵書点検
- ◆令和3年度比布町文化賞及び文  
化奨励賞
- ◆スポーツ振興事業
- ◆バレーボール町技50周年記念事  
業



- ◇子ども水泳教室
- ◇第2回比布町ヒルクライムレ  
ス大会

### 【総務企画課】

#### 《報告事項》

- ◆第3回議会定例会提出議案
- ◆令和3年度普通交付税の決定
- ◆令和3年度人事院勧告
- ◆連携中枢都市圏構想の形成
- ◆企業版ふるさと納税
- ◆その他
- ◆令和4年度職員採用試験
- ◆比布町とヤマト運輸株式会社と  
の包括連携協定
- ◆運動と食による脳の活性化事業  
プロジェクトチーム発足
- ◆びつぷ未来会議
- ◆地域おこし協力隊
- ◆PIP相互応援大使活動
- ◆EXIT萎えぼよエリアぶちア  
ゲ活性化ツアー

#### 《協議事項》

#### ■第3回議会定例会提出議案

- ◇教育長の任命、監査委員の選任
- ◇地方公共団体の財政健全化に関  
する報告
- ◇令和2年度比布町歳入歳出決算  
認定
- ◇比布町過疎地域持続的発展市町  
村計画

◇令和3年度一般会計補正予算案

## 総務常任委員会 10月4日開催

### 【生涯学習課】

#### 《協議事項》

■第5回臨時会提出議案

◇損害賠償額の決定について

#### 《その他》

◇義務教育学校開校に伴う校訓  
校章、校歌、開校式について

## 産業建設常任委員会 8月23日開催

### 【産業振興課】

#### ▽農林部門

#### 《報告事項》

■農作物の作付状況

■経営所得安定対策

■令和2年度いちご冬季栽培実証  
実績

■令和3年度経営継承・発展等支  
援事業

■クマ出没状況

#### 《協議事項》

■第3回議会定例会提出議案

◇令和3年度一般会計補正予算案

#### ▽商工・観光部門

#### 《報告事項》

■令和3年度各施設の利用状況

■各イベント等の実施状況  
■新型コロナウイルス感染症対応  
地方創生臨時交付金を活用した事  
業の実施状況

◇「ぴっぷの事業所応援給付金」  
交付事業

◇商工業振興事業

◇「支え合おう！ ぴっぷの元気  
づくり商品券」給付事業

商品券利用率38・3%、食事券  
利用率21・9%（8月16日現在）

◇「ぴっぷの観光」受入体制支援  
事業

■ぴっぷ七夕天国中止に伴う代替  
事業

◇「コロナ禍でも思い出を」七夕  
打上花火

◇良佳村サマーアクティビティ体  
験会

◇大雪山サマーカップパークゴル  
フ大会

◇子ども会七夕飾りづくり交流会

◇令和3年度一般会計組替報告

【建設課】  
《報告事項》

■建設工事の発注及び進捗状況  
■道路環境整備事業等の実施状況

《協議事項》  
■第3回議会定例会提出議案

◇財産の取得について  
◇比布町道路占用料徴収条例の一  
部改正案

◇比布町道路の構造の技術的基準  
等を定める条例の一部改正案  
◇令和3年度一般会計・簡易水道  
事業特別会計補正予算案

### 【農業委員会】

#### 《報告事項》

■農地法及び基盤強化法による農  
用地集積状況

## 産業建設常任委員会 10月4日開催

### 【産業振興課】

#### 《報告事項》

■地方創生臨時交付金（事業者支  
援分）について

#### 《協議事項》

■比布町商工業振興事業補助規則  
の一部改正

■第5回議会臨時会提出議案  
◇令和3年度一般会計補正予算案

## 全員協議会

▼9月1日開催

### 【総務企画課】

■比布町過疎地域持続的発展市町  
村計画について

▼9月6日開催

### 【保健福祉課】

■上川中部福祉事務組合の設立に  
ついて

▼9月8日開催

■会議の運営について

▼9月17日開催

### 【総務企画課・産業振興課】

■新型コロナウイルス感染症対応  
地方創生臨時交付金に係る事業に  
ついて

### 【保健福祉課】

■第4回議会臨時会提出議案

◇上川中部福祉事務組合規約の一  
部変更案について

## 教えて！議会のぎもん



Q 全員協議会って何ですか？

A 町政全般に関わる事項や議会の運営に関する事項などを協議するため、全議員で行う会議です。町から重要施策の説明を受け、意見を述べたり、町議会内部の事項について報告・協議、また議員の意見統一を図る場合など必要に応じて開催されます。

# 議会のうごき

## 8月

- 19日 家畜慰霊祭 (中央ふれあい広場、議長)
- 23日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 25日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)

## 9月

- 1日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 全員協議会 (役場、全議員)
- 6日 第3回議会定例会 ~ 8日 (役場、全議員)
- 全員協議会 (役場、全議員)
- 決算特別委員会 ~ 7日 (役場、全委員)
- 7日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 8日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 全員協議会 (役場、全議員)
- 17日 全員協議会 (役場、全議員)
- 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 第4回議会臨時会 (役場、全議員)
- 議会改革特別委員会 (役場、委員・議長)

みなさんも

## 議会を傍聴しませんか



次回の議会定例会は12月上旬に開会します。  
くわしい日程は、無線放送等でお知らせしますので、お気軽にお越しください。

## 10月

- 4日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 第5回議会臨時会 (役場、全議員)
- 10日 自由民主党北海道第六選挙区支部・東くによし六区支部連合後援会合同事務所開き (旭川市、議長)
- 13日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 25日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)

## 編集後記



猛暑の夏を乗り切り、オリンピック・パラリンピックで日本人の活躍に感動。しかし、緊急事態宣言発令や、まん延防止等重点措置の適用を繰り返す中、ワクチン接種が進んでも、人との距離を取り、マスク着用、手指の消毒、オンラインでの会議と日々の生活は大きく変化し、コロナが収束するには、まだ2、3年かかるといふ見解もあり、心の疲れもピーク、口をついて出るのはため息とグチばかり。

夏のイベント、秋のイベントも2年連続中止で沈みがちな心に、毎朝元気に登校する子どもたちの「おはようございます」のあいさつに顔を上げ、マスク越しに目と目でアイコンタクト、笑顔で見送る日々感謝です。

気がつけば、9月21日は中秋の名月。9月の満月が一致するのは8年ぶりだとか。ゆっくりと夜空をながめ、そこで一句

「中秋の月に祈りし世の平安」

ひと雨ごとに寒くなってきましたが、お互いに助け合い、声を掛け合って乗り切っていきましょう。

(安藤 裕子)



### 議会広報特別委員会

- 委員長 安藤 裕子
- 副委員長 谷 雅子
- 委員 遠藤 雅浩
- 佐藤 康弘
- 大熊 勝幸